Vol. 1

望海台交通NEWS

発行　令和３年８月
望海台自治会交通システム委員会

　塩屋地域では2017年4月よりコミュニティバス「しおかぜ」の運行が実現していますが、望海台地域では、地域の道路事情などもあり、「しおかぜ」の利用がしづらく、未だ生活の足に不便を感じている方もいます。

　これまで望海台地域にふさわしい公共交通の導入に向けた取り組みへの支援について、神戸市に要請してきた結果、神戸市から地域コミュニティ交通支援制度による「デマンド型乗合タクシー」の導入に向けた、地域・運行事業者・神戸市の協働の取り組みについて提案がありました。

　そこで、望海台自治会交通システム委員会を立ち上げ、市の支援を活用し、望海台地域の実情に適した「デマンド型乗合タクシー」の導入を目指す取り組みを進めていくことになりました。

デマンド型乗合タクシーとは

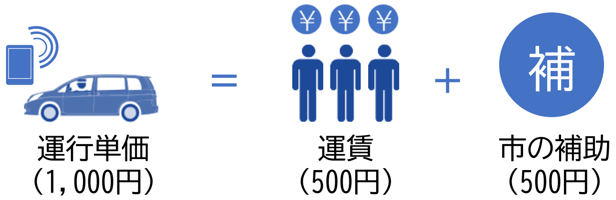
　デマンド型乗合タクシーは、路線バスと同様にあらかじめ運行ルートや停留所・時刻表を定めますが、利用者の予約があった場合だけ運行するバスです。

　あらかじめ定めた運行ルート（運行距離）に基づき、1回の運行にかかる経費（運行単価）を設定し、同乗する利用者数に応じた割勘運賃を設定します。

　神戸市地域コミュニティ交通支援制度では、運行単価の上限5割を支援することで、利用者の運賃負担を軽減します。

路線は予め定めるが、運行時間を定めずに、予約があったときのみ不定期で運行

運行単価と運賃設定例



割勘運賃の設定例
1名利用時　500円/人
2名利用時　300円/人
3名利用時　200円/人

問合せ先　望海台自治会交通システム委員会
（裏面参照）

神戸市地域コミュニティ交通支援制度とは

　神戸市では、既存の公共交通では十分にサービスが行き届かない等、地域の生活交通に課題を抱えている地域において、地域住民が主体的に取り組む地域コミュニティ交通の導入を支援しています。

　「神戸市地域コミュニティ交通支援制度」では、地域の実情に応じた多様な地域コミュニティ交通の実現にむけて、地域・運行事業者・神戸市が適正な役割分担のもと、互いに連携・協力しながら取り組む活動を支援します。

取り組みの流れ

済 組織の立ち上げ ▶ アンケート調査の実施 ▶ 運行計画の検討と目標設定 ▶ 試験運行 ▶▶ 目標達成 ▶▶ 本格運行

９月頃にアンケート調査を実施しますので、ご協力をよろしくお願いします。

望海台自治会交通システム委員会

　望海台自治会交通システム委員会とは、望海台地域の生活交通の課題を検討し、地域の実情に応じたバス（デマンド型乗合タクシー）の導入を目指して、望海台自治会役員会の合意形成を踏まえて設立された組織です。

　今後、神戸市の認定を受け、市の「地域コミュニティ交通支援制度」を活用した取り組みを進めていきます。

　なお、本委員会の望海台自治会会則への位置づけは、来年度定期総会にて議題とさせていただきます。

◆検討エリア
　望海台地域（塩屋町8丁目）
◆役員
＜委員長＞　新政　俊幸
＜委　員＞　川名　茂樹
　大川　孝実
　岩本　徹
＜顧　問＞　藤田　裕二